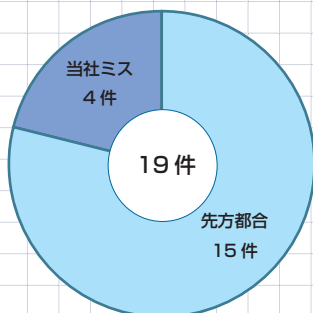


リポートニュース

令和4年5月号 NO.240

大きな地震や災害の度に、商品がキズ付き売り物にならなくなる事例は、後を絶ちません。福島県国見の道の駅では、地震でキズ付いた商品や汚れた商品を「定価」で販売!という記事(日刊自)を読みました。普通なら大幅な値引きもやむなしと考えるところ、キズ付ながらも残った商品を「震度6強を乗り越えた勇者たち」と「値段を負けたくない」と語呂合わせのもと、8割の商品を販売しました。応援需要の一面もありますが、被災地をこれからどう立て直すかの答えが、キズ付いた商品を「見せ方を変えて売ること」だったに違いありません。商品の持つストーリーを明示することで、お客様に喜んで買って頂けた。と解説されていました。

4月のクレーム 集計報告

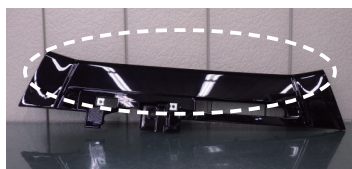


自社主力商品別クレーム (輸出版売はノークレームのため対象外です。)

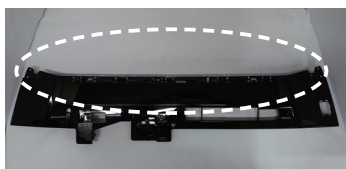
商品別クレーム	件数	クレーム率	内 訳
バンパー	0件	0/995 0.0%	
フード	0件	0/196 0.0%	
フェンダー	0件	0/513 0.0%	
ドア・Rゲート	0件	0/161 0.0%	
ライト類	0件	0/783 0.0%	
計	0件	0/2,648 0.0%	

豆知識 ダイハツ タントカスタム LA650 R1.7～ラジエターグリルガーニッシュ標準タイプとスタイルセレクション(R2.12～追加グレード)の相違点

スタイルセレクションのガーニッシュは上部にメッキモールが付く為、凹んだデザインで取付穴が多数あります。



標準タイプ



スタイルセレクション

豆知識 マツダ MAZDA3 テールランプセダンとファストバックの相違点

ファストバック	BPFP、BP5P BPEP BP8P 系	立体的で凹凸したデザイン
セダン	BP5P・BF5P BP8P BPEP 系	平面的なシンプルなデザイン



マツダ3 セダン



マツダ3 ファストバック

豆知識 トヨタ カムリ AXVH70系 ヘッドライト年式とグレードによるハウジング色の違い

H27.7～R3.2 (初期～中期)	標準グレード、WS	メッキ色…①
R1.10～R3.2 (中期)	WS 中のブラックエディション (刻印 T)	スモークメッキ色…②
R3.2～(後期)	WS (刻印 K) のみ その他グレード (刻印 M)	ブラック色…③ スモークメッキ色



①標準グレードとWS



②中期WSブラックエディション



③後期WS

アルコール検知器の準備

4月よりアルコールチェックの義務化が施行され、さらに10月からは運転手の酒気帯びの有無の確認をアルコール検知器で行うこととなります。当社の場合、コアの集荷を担当する資材部では、道路事情を考慮して早朝出社や出張先からの業務開始などが日常的な業務です。こうした業務に対応できて日々の記録を蓄積できる機能は、スマホと連携したシステムが用意されているようですが、車両ごとに専用検知器が必要となります。大きな出費となることは間違いありません。



窒素式樹脂溶接機のデモ報告



二年前にポリバンス(窒素式樹脂溶接機)を使ってヘッドライトのステー修理を検討しましたが、ステー修復跡が当社の補修コンセプトとかけ離れていたため導入を見送りました。今回は、バンパー下部の取り付けペロの破損修理に限定して導入を検討しました。前回よりも充填剤の溶接棒の種類と形状が改良され実用性が高まったようです。修理ヶ所を限定すれば利用価値は高いと判断して導入を決定しました。

意見3件・評価2件を頂きました。

2日間の日程で始まったISO9001の審査は、改善の余地ありの意見事項3件ありました。評価では、商品管理部の在庫管理の改善効果と在庫情報の毎日更新によるスマートホンからのアクセス数が2.5倍になった点など2件が評価されました。今後もISOの取組みを基本にリノベーターの利用者と共に資源の有効利用の向上に努めてゆきます。



体験しましたか!<ゾーン30エリア>

カーナビから<ゾーン30エリア>です。ご注意ください!>と注意喚起を促す配信が多くなっています。ゾーン30エリアとは、時速30Kmの速度制限区域で、生活道路における歩行者や自転車のさらなる安全性の確保をはかるための人優先の安全・安心な通行空間を意味するものです。今後も<ゾーン30エリア>が整備されることに、カーナビから事故防止の喚起アナウンスが多くなりそうです。

研修会 始まる!

森林インストラクターの研修会が本格的に始まりました。週末はもちろんのこと平日に開催される日程も多く、これまで仕事大優先のスケジュールが趣味を優先するまでに変わりました。社会人になってから52年間、働き続けてやっと得られたこのスケジュールを一日も長く続けられるように会社も身体も健康でありたいと願っております。



筆者:前列左端

